

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 2018年に大学本部からの要請で(1-1葉, 1-2葉)、「教育理念・目的」と「人材の養成の目的」を見直し、愛知学院大学の「人材の養成・教育研究上の目的」の下に、薬学部の改訂案を薬学部将来構想委員会で議論し(1-3葉)、薬学部教授会でこれを承認した(1-4葉,1-5葉)。これを2019年度より薬学部の履修要項(1-6葉)や薬学部ホームページ(1-7葉)で公表している。本目的は、医療界および社会の要請に応えうるもので適切である。				
(2) 大学の理念である「自分の可能性に挑戦し、協働の場で主体的に活躍できる人」の育成に薬学部の「人材の養成・教育研究上の目的」は合致しており関連した内容である。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
1-1葉	H30大学教学改革推進会議資料(平成30年9月18日開催:資料1-2)			
1-2葉	H30-2-「人材の養成・教育研究上の目的」策定についての依頼文(平成30年9月28日大学教学改革推進企画室)			
1-3葉	H30将来構想委員会議事録(第1～5回)			
1-4葉	H30第17回薬学部教授会議事録(平成30年11月28日開催)			
1-5葉	愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程			
1-6葉	2019年度 履修要項 薬学部 (p19)			
1-7葉	薬学部ホームページ資料 http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、人材の養成・教育研究上の目的を「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。(1-8葉,1-5葉)。				
(2) 履修要項で学生や教職員への周知するとともに(1-6葉)、大学ホームページ(1-9葉)や薬学部ホームページ(1-7葉)で社会への公表している。				

基準1. 理念・目的		組織名	薬学部
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。			
根拠資料名			
1-8葉	学則		
1-9葉	大学ホームページ資料 (https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/)		

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、 記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を 記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
なし	
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学部では、2018年4月に「愛知学院大学薬学部自己点検評価委員会規程」を整備し、2019年4月にはその一部を改訂した(資料番号2-1薬)。2018年度に新設した評価改善委員会を中心となり、自己点検評価とその改善を主体的・恒常的に運用している(資料番号2-2薬, 資料番号2-3薬)。 また、薬学部では、各種委員会の設置について薬学部教授会規程第4条第4号に基づいて規定され、各委員会からの教授会への提案をもって最終決定としている。内部質保障のための対応についても教授会又は関連委員会からの依頼により審議・提案を行う体制を整えている。(2-4薬)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2-1薬	H31-1-愛知学院大学薬学部自己点検評価委員会内規			
2-2薬	H30年度第14回教授会資料 資料14-8			
2-3薬	H30年度第1回自己点検・評価委員会資料			
2-4薬	愛知学院大学薬学部教授会規程第4条第4号及び大学院薬学研究科委員会規程第4条第4号に基づき設置する各種委員会について			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、たうえて、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準2」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。
A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学部では、人材の養成・教育研究上の目的に基づき学生が修得すべき知識、技能、態度をディプロマ・ポリシーとして設定し、履修要項(資料番号4-1薬)や大学(資料番号4-2薬)および薬学部(資料番号4-3薬)ホームページで教職員や学生に周知すると共に、大学(資料番号4-2薬)および薬学部(資料番号4-3薬)ホームページで広く社会にも公表している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1薬	2019年度履修要項 薬学部(p19)			
4-2薬	愛知学院大学ホームページ http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission01.pdf			
4-3薬	薬学部ホームページ http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学部では、カリキュラム・ポリシーに基づいた科目編成を構築しており、これを履修要項(資料番号4-1薬)やホームページ(資料番号4-2薬、4-3薬)にて公表している。また、習得すべき授業科目は、内容に応じて、講義、実習および演習で構成されている(資料番号4-4薬(p67-278))。</p> <p>(2) 薬学部のカリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーに定められている卒業時に身につけておくべき能力との関連性を持たせるよう、2018年度に改訂された。現行のカリキュラムは2019年度4月より施行されている(資料番号4-5薬)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1薬	2019年度履修要項 薬学部(p19)			
4-2薬	愛知学院大学ホームページ https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/			
4-3薬	薬学部ホームページ http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/			
4-4薬	2019年度履修要項 薬学部(p67-278)			
4-5薬	2018年度第22回教授会資料(資料22-6)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 本薬学部の人材の養成・教育研究上の目的に基づいて設定されたディプロマ・ポリシーを基に、カリキュラム・ポリシーが設定されている。カリキュラム・ポリシーに沿うよう授業科目が編成され、適切に実施されている(資料番号4-6薬,4-7薬)。				
(2) カリキュラム検討委員会が中心となってカリキュラムマップ(資料番号4-7薬)やカリキュラムツリー(資料番号4-8薬)を作成し、科目の順次性・体系性が考慮されている(資料番号4-9薬(2)-1-9)。				
(3) 個々の科目は、薬学部のカリキュラム・ポリシー(資料番号4-1薬)ならびに薬学教育モデル・コアカリキュラム(資料番号4-10薬)に準拠した教育内容となっている。カリキュラム検討委員会が、カリキュラムや科目内容の精査を行い、必要であれば科目の見直し等を行っている(添付資料4-11薬)。				
(4) 薬学部では、薬学の知識・技能・態度を身につけるための教養教育科目と薬学専門教育科目、さらに科学的分析力と論理的思考能力の涵養を目的とした発展系科目と卒業研究によりカリキュラムを編成し、学士課程の修得に相応しい内容となっている(資料番号4-4薬)。				
(5) 薬剤師を中心とした医療薬学専門人養成に必要な知識・技能・態度の修得に必要な教育を適切に実施している(資料番号4-4薬)。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-1薬	2019年度履修要項 薬学部(p19)			
4-4薬	2019年度履修要項 薬学部(p67-278)			
4-6薬	H31年2月代表教授会資料(抜粋) 学則 別表9			
4-7薬	2019年度履修要項 薬学部(p24, 28, 32)			
4-8薬	2019年度履修要項 薬学部(p25, 29, 33)			
4-9薬	H27年度第9回薬学部教授会議事録			
4-10薬	2019薬学部履修要項 薬学部(p282-339)			
4-11薬	H30 教授会資料(教務委員会-カリキュラム検討委員会)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 各科目のシラバスに、予習・復習時間を明記し、単位の実質化を図っている。しかしながら、薬学部では各学年での履修単位数の上限は設けていない。2019年度入学生までは、卒業要件に定める6年間の修得単位数のうち、1年次の修得単位数が52単位と偏っていたが、これを2020年度入学生より同46単位へと見直しを行った。(資料番号4-6薬, 資料番号4-12薬)。				
(2) 教務委員会やカリキュラム検討委員会が中心となり、シラバスに必要な事項が明記され(資料番号4-4薬)、薬学教育モデル・コアカリキュラムが適正に実施されていることを確認するとともに、その実施状況のアンケート調査を行っている(資料番号4-13薬)。				
(3) 学生の主体的学習参加を促すために、問題解決型学習(PBL)や少人数グループディスカッション(SGD)を導入した科目、実習、演習を全学年で実施している(資料番号4-14薬)。				
(4) ほとんどの専門科目の講義は145名で実施されているが、一部の語学教育では1クラス45人程度までの規模で講義が実施されている(資料番号4-15薬、4-16薬、4-17薬)。また、実習、演習科目では学生を半数に分け、さらに7~10名程度の小グループに分けて実施している。またPBLやSGDを実施する科目では机イス自由配置型講義室を利用し、効果的な教育を行うための配慮がなされている(資料番号4-18薬)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-4薬	2019年度履修要項 薬学部(p67-278)			
4-6薬	H31年2月代表教授会資料(抜粋) 学則 別表9			
4-12薬	2019薬学部_履修要項 薬学部(p346-351)			
4-13薬	カリキュラム検討委員会 SBOs対応確認シート			
4-14薬	2019薬学部_履修要項 薬学部(p34)			
4-15薬	実用薬学英語 I、II 講義資料			
4-16薬	2019薬学部_履修要項 薬学部(p4) 実用薬学英語 I、II クラス分け資料			
4-17薬	語学少人数教育資料			
4-18薬	H30年度 第26回 教授会資料(26-7)			

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1) 単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2) 成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3) 卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4) <修士課程・博士課程> 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5) 学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6) 適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 単位制度の趣旨に基づき成績評価の方法・基準が科目毎に設定され、各科目のシラバスに明記されている(資料番号4-4薬)。学則第8条の2に従い、入学時に既修得単位の調査を行い対象者に関しては科目内容等を考慮した適切な単位認定が行われている(資料番号4-19薬、4-20薬、4-21薬)。</p> <p>(2) 成績評価の客観性、厳格性を担保するため、各学期で薬学部教務委員会ならびに薬学部教授会で審議、承認を行っている(資料番号4-22薬、4-23薬)</p> <p>(3) 学士課程の修了判定基準は、所定期間の在学と教養教育科目46単位以上、薬学専門教育科目140単位以上、合計186単位以上の修得が修了要件であり、これを履修要項で学生に周知している(資料番号4-12薬、4-20薬、4-24薬)。</p> <p>(4)</p> <p>(5) 教授会および教務委員会内規に則り(資料番号4-25薬、4-26薬)、学位審査及び修了判定は客観性・厳格性を確保するため、教務委員会で学生ごとの修得単位数を確認した後(毎年2月下旬)、教授会(資料番号4-27薬)にて各教員が修得単位の確認をした後、承認を行い(毎年2月下旬)、さらに全学の代表教授会(毎年3月初旬)で最終判定を行っている。卒業の判定については、薬学部履修要項に明示されている。</p> <p>(6) 学位授与については、教授会および教務委員会内規に則り(資料番号4-25薬、4-26薬)、教務委員会および教授会(資料番号4-27薬)で承認し、さらに全学の代表教授会で最終判定を行うことで適切な学位授与を行っている。</p>			
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>			
根拠資料名			
4-4薬	2019年度履修要項 薬学部(p67-278)		
4-12薬	2019薬学部_履修要項 薬学部(p346-351)		
4-19薬	2018年度単位認定資料		
4-20薬	2019年度履修要項 薬学部(p341)		
4-21薬	単位認定について(17A901)		
4-22薬	単位認定及び成績評価に関するガイドライン		
4-23薬	各科目のヒストグラム(H29秋学期試験・H30春学期試験)		
4-24薬	2019年度履修要項 薬学部(p35)		
4-25薬	薬学部 教授会規程		
4-26薬	薬学部 教務委員会内規		
4-27薬	平成30年第24回教授会資料 (卒業判定について)		

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部のアセスメント・プランを定め、ディプロマ・ポリシーに即した学習成果の測定を、知識(各科目試験および卒業試験)・技能や態度(実習および演習、卒業研究での技能を含めた主体的取り組みの評価)の面から多角的に実施してきた(資料番号4-4薬、4-7薬、4-28薬)。				
(2) 学生の6年間の学習成果を把握、評価するためのアセスメント・テストとして卒業試験を実施している(資料番号4-31薬)。また、卒業研究に関しては、ルーブリックを用いた観点ならびに到達度を学生に明示した上で、その成果の測定を実施した(資料番号4-32薬)。また2019年度より、学生が6年間の体系的な学習成果を把握のためにルーブリック評価の導入を薬学部教授会にて決定し(資料番号4-29薬)、年度末に実施した。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-4薬	2019年度履修要項 薬学部(p67-278)			
4-7薬	2019年度履修要項 薬学部(p24, 28, 32)			
4-28薬	2019年度履修要項 薬学部(p22,23,26,27,30,31)			
4-29薬	6年間ルーブリック表			
4-30薬	統合型学習ルーブリック表			
4-31薬	平成30年度教授会資料-資料21-1 第10回臨時教務委員会(教授会用)			
4-32薬	2019年度卒業研究ルーブリック評価表			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) すべての薬学部専門教育科目について成績のヒストグラムを作成し、教務委員会ならびに教授会で確認を行っている(資料番号4-23薬)。また薬学部における各学年の進級状況や共用試験模試の成績、国家試験の合格率等を調査し、学生の学習状況の的確な把握に努めている(資料番号4-33薬)。				
(2) 薬学部のカリキュラム検討委員会でカリキュラムの編成や内容に関して、定期的な検証・改善を実施する体制が整えられている(資料番号4-34薬)。またこれまでの取り組みとして薬学部FD委員会が中心となり、学生指導方法や教育方法に関するワークショップを開催し、90%以上の薬学部教員が参加している(資料番号 4-⑦-5)。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-23薬	各科目のヒストグラム(H29秋学期試験・H30春学期試験)			
4-33薬	研究所報告会資料			
4-34薬	カリキュラム検討委員会内規			
4-34薬	FDワークショップ資料			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既にも実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 大学及び薬学部の「人材の養成・教育研究上の目的」、「ディプロマ・ポリシー」及び「カリキュラム・ポリシー」に基づいたアドミッション・ポリシーを設定し、大学や薬学部のホームページ上で公表している(資料番号5-1薬, 資料番号5-2薬)。</p> <p>(2) 薬学部のアドミッション・ポリシーとして、理科系科目(化学、生物学、物理学)および数学、語学(国語、英語)の修学、論理的な思考力と主体的な勉学態度を学生に求めている(資料番号5-3薬)。またその水準の判定方法については、入試ガイドで明示している(資料番号5-4薬)</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1薬	大学ホームページ資料 http://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission01.pdf			
5-2薬	薬学部ホームページ資料 http://www.phar.agu.ac.jp/outline/policy/			
5-3薬	2019年度履修要項 薬学部 (p19)			
5-4薬	H30-25-2018年入試ガイド			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) アドミッション・ポリシーに基づいて設定した学生募集方法について、学生募集要項(資料番号5-5葉)ならびにホームページ(資料番号5-6葉)で公表している。また入学試験形態や入試形態毎の入学者定員の見直しを行い、適性のある学生の確保に努めている(資料番号5-7葉)。</p> <p>(2) 入学者選抜においては、学長、各学部の学部長および教務主任を主要メンバーとする全学の入試委員会が設置され(資料番号5-8葉)、入学志願者の適性および能力を客観的に評価する体制を整えると共に、その結果を薬学部教授会で審議する体制を整えている。</p> <p>(3) 入学者選抜実施のための体制のもと、入学選抜については入学試験形態毎に筆記試験及び面接試験などの結果に基づき公正に選抜を実施し、その適切性を学部で確認している(資料番号5-9葉)。</p> <p>(4) 入学を希望する学生に対して、入試要項に基づいた適正な入学者選抜を実施している(資料番号5-5葉、5-9葉)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-5葉	2019年度_一般入試要項			
5-6葉	大学ホームページ入試 http://navi.agu.ac.jp/examination/			
5-7葉	将来構想委員会 入試検討小委員会資料			
5-8葉	H30-26-H30入試委員会メンバー資料			
5-9葉	H30 全学入試委員会資料 選抜の実施(入試委員会議事録)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 入学者数/入学定員数を1.0～1.1とする慎重な入学者選抜を行っており、全体として入学定員数と入学者数は大きく乖離しておらず、定員を下回ってもいない。収容定員に対する在籍学生数の比率は2019年5月1日現在、1.02と適正なものとなっている(資料番号5-10薬)。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-10薬	H31教授会報告-学生在籍者			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 薬学部では、個々の学生について、入学後の成績を調査し入試形態と薬学部での成績の関係を分析している(資料番号5-11薬)。また薬学部における入学定員及び収容定員を適切に維持するために各学年の進級状況、在籍状況の確認を実施すると共に、アドミッション・ポリシーの適切性を点検するため、単位修得状況に加え、共用試験模試の成績、国家試験の合格率、学外の模試などの結果等を調査し、学生の学習状況の的確な把握に努めている(資料番号5-12薬)。				
(2) 入学試験形態毎の入学者定員の見直しや選抜方法の見直しを将来構想委員会の議を経た後、教授会で承認する体制により、適正のある学生の確保に努めている(資料番号5-7薬)。				
[根拠資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-11薬	H27年度医療生命薬学研究所第4回サイエンスフォーラム発表7			
5-12薬	添付資料H30-23-H30医療生命薬学研究所報告会資料			
5-13薬	H28年度第5回薬学部教授会議事録大学各種委員会報告-(入試委員会)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、
 たうで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
なし	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、
 記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を
 記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 薬学部の教員組織の編制について、2020年2月18日に開催した将来構想委員会において審議し、2020年2月28日に開催された薬学部教授会にて、承認された。しかしながら、現時点で編制方針の明示は行われていない。</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">根拠資料名</p> <p>6-1薬 2019年度第24回薬学部教授会 資料24-4</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 適切な職位からなる専任教員が大学設置基準以上の人数で配置されているが、学生数との比率は約20:1であり、薬学部第三者評価機構が求める比率(10:1)とは乖離がある(資料番号6-2薬)。</p> <p>(2) 薬学部の教員組織の編制に基づき、専任教員数の維持並びに適切な教員配置に配慮し、計画的な募集・採用・昇任人事を実施しており、2019年度は、2名の教授(男性1名、女性1名)、2名の助教(男性2名)の新規採用が、昇任人事として、准教授へ3名、講師へ1名が実施された(資料番号6-8薬)。</p> <p>(3) 専門分野について教育上および研究上の優れた実績を有する専任教員が配置され、その年齢構成に偏りは無い。学外実務実習のサポートについては非常勤講師が施設訪問のサポートを、また実習・演習などの科目では非常勤実験助手の採用枠も確保されており、教員の負担軽減も配慮されている(資料番号6-3薬)。</p> <p>(4) 本学には教養部が設置されており、学部と連携しながら効果的な教養教育が実施されている。とくに1年次には教養部の理系教員が薬学部生のアドバイザー・教員となり学習をサポートするとともに(資料番号6-4薬)、薬学部で実施される保護者懇談会にも出席している(資料番号6-5薬)。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-2葉	教員構成・在籍学生数(2019年5月1日現在)
6-3葉	2019年度非常勤実験助手一覧資料
6-4葉	2019年度履修要項 薬学部(P40)
6-5葉	H30大学後援会支部懇談会資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1)
「愛知学院大学薬学部教員資格審査内規」(資料番号6-6葉)および「薬学部教員資格審査委員会規程」(資料番号6-7葉)を策定し、「教授選考」、「准教授、講師、助教および助手の採用」、さらに「准教授、講師および助教への昇任」について明文化している。
- (2)
2019年度は、次年度に向けた採用人事として、1名の講師採用、1名の助教採用、1名の准教授への昇任人事に関して教員資格審査規定に則って審査が行われた。(要確認)(資料番号6-8葉)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-6葉	薬学部教員資格審査内規
6-7葉	薬学部教員資格審査委員会規程
6-8葉	教員新規採用・昇任資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1)
全学ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会および薬学部FD委員会(資料番号6-9葉)が設置され、教員の教育研究能力の向上を図るための取組みが、それぞれ全学および薬学部単位で実施されている。薬学部では平成24年度から、ほぼ全員の専任教員が参加するFDワークショップを開催し、教育研究活動の改善に努めている(資料番号6-10葉)。
- (2)
専門分野について教育上および研究上の優れた実績を有する者が配置されていることを担保するために、平成28年度より「愛知学院大学薬学部における教員の活動業績評価指針」(資料番号6-11葉)に基づいた活動業績を専任教員移行後5年毎に評価し、評価結果を教員にフィードバックしている。(6-12葉)。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

6-9葉	FD委員会名簿
6-10葉	FDワークショップ資料
6-11葉	愛知学院大学薬学部における教員の活動業績評価指針
6-12葉	教員活動評価資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 「愛知学院大学薬学部における教員の活動業績 評価指針」を設定しており、5年に一度、教員の、教育活動、研究活動、大学運営活動及び地域・社会貢献活動について評価している(資料番号6-12薬)。</p> <p>(2) 平成24年度から、ほぼ全員の専任教員が参加するFDワークショップを開催し、教育研究活動の改善に努めている(資料番号6-10薬)。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
6-12薬	教員活動評価資料			
6-10薬	FDワークショップ資料			

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
なし	なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

<p>理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 医療・薬学における国際交流の活性化に努め、米国及びアジア地区の大学と大学間協定を結び、学生や教員の相互派遣を実施している(資料番号9-1薬、資料番号9-2薬)。しかしながら、Western大学との相互学生交流では、6月の学生受け入れは実施できたが、2月に実施を予定していた本学学生の海外研修については、新型コロナウイルスに関連する措置により中止となった。 また、学外の施設との共同研究に関しては研究支援課によるサポートを、またその中で倫理研究に関する研究については、倫理委員会による審査が実施できるような体制が整備されている。</p> <p>(2) 地域の医療機関と連携協定を結び、地域医療の発展並びに薬剤師の資質向上に努めている。また実務実習指導薬剤師養成事業を支援している。さらに薬剤師向けの卒業教育を毎年実施するとともに、地域住民向けの公開講座の支援、オープンキャンパスを介した地域住民への薬学の紹介や健康情報の発信、児童向けの医療・防災意識喚起事業などにも積極的に参加している(9-3薬)。また、医療に関わる大学や病院、薬局、企業との共同研究を通じた社会貢献を積極的に推進している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1薬	国際交流 海外協定書			
9-2薬	国際交流資料			
9-3薬	地域連携事業資料			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 社会連携・社会貢献事業において国際交流委員会、生涯教育委員会がそれぞれ取り組み終了後にアンケートを実施し、委員会並びに教授会でその内容を報告し、事業内容を確認している(資料番号9-4薬、資料番号9-5薬)。また、医療薬学生命研究所が中心となり、学外との共同研究に関する現状調査が行われた。</p> <p>(2) 各事業において、アンケート結果に基づき問題点を把握して委員会で議論し、改善を実施している(資料番号9-6薬)。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	
9-4葉	国際交流事業アンケート
9-5葉	生涯教育事業アンケート
9-6葉	委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
②-1), 2)	地域における保健衛生の保持・向上につながる支援活動を行っている。(資料番号9-3葉)
②-1), 2)	韓国の東国大学、Western健康科学大学との連携事業においては、学生が双方の大学に訪問して交流するなど積極的にいき、国際交流活動を進めている。(資料番号9-2葉)ただし、2020年に実施を計画していた相互研修は、新型コロナウイルス対策のため、中止した。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	
9-3葉	地域連携事業資料
9-2葉	国際交流資料

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
なし	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既の実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
なし	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	

5. 「基準9」全体の自己評価

自己評価
基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。
A